2024年5月13日

各　位

会 社 名　西 松 建 設 株 式 会 社
代表者名　代表取締役社長　髙 瀬　伸 利
（ コード1820 東証プライム ）
問合せ先　執行役員 管理本部副本部長
兼 総務部長　鳥 居　久 嗣
（ TEL　03－3502－0232 ）

「中期経営計画2025」の計画値及び配当方針の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年2月21日に公表しました「中期経営計画2025」の計画値及び配当方針の変更を決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．変更内容

業績および財務計画(連結)		2025年度当初計画	2025年度修正計画
売上高		3,700億円	4,150億円
営業利益		220億円	250億円
資本効率	ROE	8%以上	10%
財務健全性	自己資本比率	30%程度	変更なし
	D/Eレシオ	1.5倍程度	変更なし
株主還元	配当方針	2023～2025年度 配当性向70%	2023年度　配当性向70% 2024～2025年度　自己資本配当率(DOE) 5%程度の安定配当

２．変更の理由

（１）「中期経営計画2025」最終年度の計画値の変更について

最近の業績の動向等を踏まえ、「中期経営計画2025」の最終年度（2025年度）の業績計画について改めて精査したところ、国内建築事業及び国際事業（土木）の収益改善プランが想定以上に進捗しており、当初計画より売上高、営業利益、ROEともに上振れが予想されるため、上記のとおり変更するものです。

（２）配当方針の変更について

当社は、永続的な発展に向けた経営基盤の強化のため、内部留保の充実を図りつつ、経営環境や業績を総合的に勘案しながら、安定的かつ継続的に利益還元していくことを基本方針としております。また、2023年度から2025年度までの3ヵ年については「中期経営計画2025」におい

て、配当性向 70%の株主還元を実施することとしておりました。

当社は、「中期経営計画 2025」において、成長投資向けの資金に関して「事業活動により獲得した資金に加え、有利子負債を活用し、成長投資に向ける」と計画しておりましたが、昨今の金利環境の変化により資金計画の一部変更の必要性を認識するとともに、従業員の賃上げ等を含む人的資本投資の重要性もさらに高まるものと考え、今後の財務戦略について再検討いたしました。加えて、株主･投資家の皆様に対する安定配当の実現に向けた施策について検討いたしました。

これらの検討の結果、当社は、2024 年度より配当方針を「配当性向 70%」から「自己資本配当率（DOE）５%程度の安定配当」に変更することを決定いたしました。

今回の配当方針の変更により、2024 年度の１株当たり年間配当予想額は、本日付け「2024 年3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表したとおり、1 株当たり 220 円（2023 年度と同額）となります。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解の上、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

（注）上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以　上